

各相談室・検査の連絡先

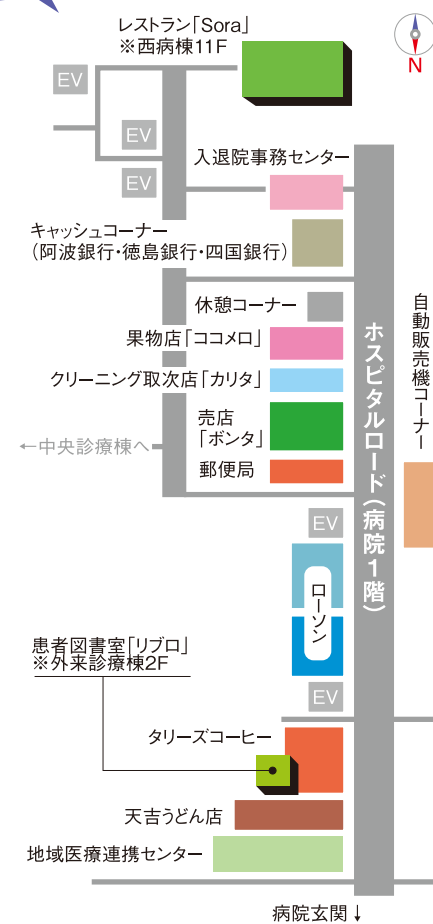
- 緩和ケア室（相談受付／月～金曜13:00～15:00）
Tel／088-633-7457 (Fax兼用)
- PET/CT検査（受付／月～金曜8:30～17:00）
Tel／088-633-9106 Fax／0120-335-812
- セカンドオピニオン外来（予約受付／月～金曜13:00～16:00）
Tel／088-633-9654 Fax／088-633-9978 ※完全予約制
- 女性外来（予約受付／月～金曜13:00～16:00）
Tel／088-633-9177 (Fax兼用) ※完全予約制
- 遺伝相談室（予約受付／月～金曜13:00～16:00）
Tel／088-633-9218 Fax／088-633-9219 ※完全予約制
- 臨床試験管理センター（受付／月～金曜9:00～17:00）
Tel／088-633-9294 Fax／088-633-9295
- 補完代替療法室・おくすり相談室（予約受付／月～金曜9:00～12:00）
Tel／088-633-7960 Fax／088-633-7961 ※完全予約制
- アンチエイジング医療センター（予約受付／月～金曜9:00～16:00）
Tel／088-633-9106 Fax／0120-335-979 ※完全予約制
- 美容センター（予約受付／月～金曜14:00～16:00）
Tel／088-633-7047 (初診) 088-633-7903 (再診施術・案内) ※完全予約制
- 地域医療連携センター[医療相談窓口]（相談受付／月～金曜8:30～17:00）
Tel / 088-633-9107・088-633-9056 Fax / 088-633-9107

編集後記

昨年から続いていた蔵本キャンパスのグラウンドでの遺跡発掘調査が終わりました。だんだんと掘り進められ遺構が現れてくる様子をグラウンドのフェンス越しに見られるのは密かな楽しみでした。病院の施設を含むこの蔵本キャンパスには弥生時代を中心に江戸時代までの遺跡があり、土器や石器がたくさん出土しているそうです。私たちの足元には先人の歴史が詰まっていたのですね。昔の人々はどんな夢を見ていたのでしょうか。（総合歯科診療部S）

発行者 病院長 安井 夏生
 編集部会長 楊河 宏章
 広報委員会 松尾 敬志 香美 祥二 武田 憲昭 柿内 聡司 柏原 稔也
 委員 松崎 健司 篠原 千尋 溝口 徹也 久米 博子 井上 千尋
 熊谷 圭司 玉田 昌宏 木虎 章 川野 茂 安崎 郁子
 仲野 博仁 島井 健一郎
 事務担当 総務課広報・企画部門Tel.088-633-7697

ホスピタルロードでは
“左側通行”にご協力をお願いします。



 徳島大学病院
Tokushima University Hospital

<http://www.tokushima-hosp.jp/>

■ご意見・ご要望は下記までお寄せ下さい。
bsoumuss1@tokushima-u.au.jp

カラダもココロも健康に

いきいきらしいふ

徳大病院だより

no.40
2013.SUMMER

特集

薬剤部

■CLOSE UP

血液の難病に新たな治療法

■徳大病院ニュース

- ・「輸血・細胞治療部」に名称変更しました
- ・「キッズセミナー」を開催しました
- ・「腎移植外来」を開設しました
- ・市民公開講座等のご案内
- ・治験に参加しませんか？
- ・禁煙川柳

■病院のお仕事いろいろ

- ・がん看護専門看護師
- ・診療放射線技師

■tokudai-staff information

副院長のごあいさつ

■患者の皆様へ

「治験案内」新しい薬の誕生まで

〔臨床試験管理センター〕

■地域連携の部屋

地域連携病院⑧ 沖の洲病院

■食事のヒント

夏を乗り切る食事！

■平成24年度 患者満足度アンケート結果

 徳島大学病院
Tokushima University Hospital

薬剤部

現在の医療において、医薬品を使用しない治療は存在しないと言っても過言ではありません。医療の現場では数多くの医薬品が使用されており、薬剤師はこれらの医薬品が安全でかつ効果的に行われるよう、「薬」の専門家として様々な医療現場で必要とされています。そこで、今号では本院薬剤部の業務の紹介や安全に対する取り組みについてご紹介します。

◎ 病院薬剤師のお仕事とは？

「くすり」という文字を逆に読むと「リスク」という文字になります。治療を行ううえで薬は必要不可欠な存在ですが、副作用などのリスクも有しています。薬剤部では、安全で効果的に薬物治療が行えるよう、薬の専門家としてその知識と技術をフル活用し、日々の業務にあたっています。

本院薬剤部は、薬務室、調剤室、製剤室、試験室、麻薬室、薬品情報室、薬品安全対策室で構成されています。各部署では、医薬品の調剤や管理、処方された薬が適切かを確認する監査、市販はされ

ていないが治療上必要とされる薬剤を製造する調製、最新の医薬品について情報の提供などあらゆる側面から「薬」が安全かつ効果的に使用されるようサポートしています。また、入院患者さんに対する服薬指導や持参薬・アレルギー・副作用歴などを確認し、医師や看護師に情報を提供することも薬剤師の重要な仕事の一つです。

使用を誤ると重大な副作用発現の危険性がある抗がん剤などは、厳格な取り扱いが必要となります。本院では、全ての

外来・入院患者さんを対象に、抗がん剤のレジメン（投与する薬剤の種類や量、期間、手順などを時系列で示した計画書）のチェック、混合調製を専任の薬剤師が行っています。

また、様々なチーム医療にも薬剤師は参画しています。感染対策チーム、緩和ケアチーム、栄養サポートチーム、褥瘡対策チームなど、チーム医療の一員として、薬の専門家としての見地から、提案や情報提供を行っています。



徳島大学病院
薬剤部

薬務室

調剤室

製剤室

試験室

麻薬室

薬品
情報室

薬品
安全
対策室

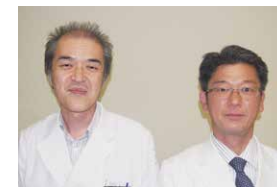
薬剤部は、
安全で効果的な
薬物治療を
サポート！

◎ より安心して 治療を受けられるために

平成21年度からは、ほぼ全病棟に専任の薬剤師を配置し、入院患者さんに対して持参薬の調査や服薬指導をはじめとした病棟活動を行うことが可能となりました。また本年度から、一部の病棟で薬剤師の配置体制を見直し、より安全で効率的な薬剤治療を行うための取り組みが始まっています。

また、処方された薬剤の取り違いを防止するため、本年4月から「全自動PTPシート払出装置」を導入しました。この装置は保管されている薬を処方に応じて自動的に払い出す装置です。今までは、調剤担当が処方箋を確認し、保管された棚から取り出し、確認した後に、監査担当がチェックを行っていましたが、さらにこの装置を導入することで、トリプルチェックに近いものとなり、より安全な薬の調剤を行うことが可能となりました。

また、注射薬の払い出しでは「オートアンプルディスプレイ」（注射薬を袋詰めする装置）を導入しており、人間の力と最新機械の力の両輪で医療事故防止、リスクマネジメント向上に取り組んでいます。



説明は、
徳島大学病院 薬剤部
（右）中村 敏己（なかむら としみ）
薬剤師
（左）溝口 徹也（みぞぐち てつや）
薬剤師



CLOSE UP!



血液の難病に 新たな治療法

ALアミロイドーシスに
対する新薬を使用した
先進医療のご紹介

ALアミロイドーシス…。この病名を初めて聞く方も多いのではないのでしょうか？ALアミロイドーシスは、日本では年間約300人の方に新たに発症しており、難病に指定されている病気です。今回は、このALアミロイドーシスについて、本院の血液内科が取り組んでいる新しい治療法について紹介します。

● ALアミロイドーシスってどんな病気？

ALアミロイドーシスとは、異常な形質細胞が産生する免疫グロブリンの軽鎖に由来する、アミロイドという難溶性のタンパクが心臓や肝臓などの体内の様々な臓器に沈着し、心不全や腎不全などの深刻な臓器障害を引き起こす病気です。

● ボルテゾミブ静脈内投与、メルフェラン経口投与及びデキサメタゾン経口投与の併用療法ってどんな治療？

ALアミロイドーシスの治療は、これまで自家末梢血幹細胞移植併用大量化学療法、メルファラン／デキサメタゾン(MD療法)などの治療が試みられています。ALアミロイドーシスは進行性の難治疾患とされてきましたが、異常な形質細胞を十分に抑制する治療により症状が改善することがわかってきました。しかし、自家末梢血幹細胞移植併用大量化学療法は治療効果が高いのですが、末梢血幹細胞を採取する際の輸液負荷により心不全症状が悪化したり、臓器機能が低下しているために移植前の大量の抗がん剤の治療に耐えられない場合が多いため、このような治療を受けることができる患者さんは限られています。またMD療法の有効性も示されていますが、多くの患者さんに十分満足できる治療効果は得られていないのが現状です。ボルテゾミブは既に多発性骨髄腫とい

す。症状としては、舌の肥大化、むくみ、呼吸困難、便秘、下痢、しびれや立ちくらみなどが見られますが、特徴的な症状に乏しく、見逃されている例も多いと考えられています。

う病気に使用され、高い効果を発揮しています。ALアミロイドーシスと多発性骨髄腫は、いずれも異常な形質細胞が病態に関与しており、ボルテゾミブはALアミロイドーシスに対しても効果の発現が早く高い効果があるのではないかと期待されています。「ボルテゾミブ静脈内投与、メルフェラン経口投与及びデキサメタゾン経口投与の併用療法(BMD療法)」とは、従来のMD療法に新薬のボルテゾミブを加えた新しい治療方法です。具体的には、図のように3種類の薬を使用し、4週間(28日)を1サイクルとして2サイクル実施し、患者さんの体調をみながら最大で4サイクル実施します。治療を繰り返すことで、早期にアミロイドの原因となるタンパクの産生を減少させ、病気の進行を抑えます。

■説明は、
徳島大学病院 血液内科
・安倍 正博(あべ まさひろ) 科長(右)
・中村 信元(なかむら しんげん) 特任助教(左)
Tel.088-633-7118(外来)

● 患者の皆様へ

今回ご紹介したALアミロイドーシスという病気は、一般的にあまり知られてはいないため、診断される頃には、症状が進行している方が多くいらっしゃいます。ALアミロイドーシスが疑われる場合は、速やかに専門の医療機関を受診することをお勧めします。

薬品 \ 日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	～28
ボルテゾミブ(B)	○			○				○			○		
メルファラン(M)	○	○	○	○									
デキサメタゾン(D)	○	○		○	○			○	○		○	○	

Sora
レストラン

おいしさと健康にこだわった
「レストラン Sora」

徳島大学病院 西病棟11階
tel・fax 088-633-9393
(院内内線 9393) 日曜定休

徳島大学病院 栄養部が監修
徳島県認定付のヘルシーランチ
ウェルネスランチ
月替献立 平日限定 1,000円

平日 11:00-17:00 ラスト16:00

新鮮野菜たっぷり！
日替わりランチ 600円

土曜・祝日 11:00-16:00 ラスト15:00

和風・洋風料理！
特別バイキング 800円

お食事メニューの他、徳島の有名店の季節感ある和菓子、洋菓子、パンなどをご用意いたしております

徳大病院ニュース 徳島大学病院の最新情報をお届けします

「輸血・細胞治療部」に名称変更しました

平成25年4月1日に「輸血部」は「輸血・細胞治療部」に名称変更しました。

従来からの主な業務である血液製剤の適正管理、輸血前検査(血液型検査や不規則抗体検査、交差適合試験)、組織適合性(HLA)検査などの移植免疫検査、自己血・造血幹細胞の保管管理、輸血副作用対策に加え、高度な先進医療を行うための細胞処理室(セルプロセッシングユニット)の管理業務を行います。今後、より一層の高度医療に貢献していきます。



「腎移植外来」を開設しました

本院泌尿器科では、平成23年より本格的に腎移植を開始し治療に携わってきました。そしてこの度、平成25年1月より腎移植外来を開設することになりました。移植認定看護師や薬剤師を加えたチームのサポートを得ながらわかりやすい指導、専門的な診

「キッズセミナー」を開催しました

「看護の日」普及事業のひとつとして、看護の仕事に親しみや関心を持ってもらうために「キッズセミナー」を開催しました。

5月18日(土)小・中学生を対象に「～ナースのお仕事を体験しよう!!～」と呼びかけ、6歳～14歳(24名)の子どもの参加がありました。本大学医学部保健学科看護学部(看護学部)の学生と教員の協力を得て、保護者の方に見守られながら白衣を着て記念写真を撮り、体温や血圧測定、心臓の音、肺の音などの聴取体験、手洗い、赤ちゃんの着替えなど、参加者は目を輝かせながら楽しい時間を過ごしました。



察が行える体制を整えております。

腎移植を受けるにあたっての診察や検査の他、腎移植に関する具体的な話を聞いてみたいといった要望や相談についても対応いたします。

TOKUDAI BYOUIN NEWS

市民公開講座等のご案内

■徳島ピンクリボン集会

【日時】平成25年8月15日(木)15:30～17:30 【場所】ホテル千秋閣 【参加費】無料
【問い合わせ】食道・乳腺甲状腺外科医局 Tel.088-633-7143

■日本消化器病学会四国支部第59回市民公開講座「おなかの病気の最新治療」

【日時】平成25年9月7日(土)13:00～17:00 【場所】徳島大学 蔵本キャンパス 大塚講堂
【参加費】無料 【問い合わせ】消化器内科医局 Tel.088-633-7124

■第41回日本磁気共鳴医学会大会市民公開講座「発達障害と脳画像 気になる子供の頭を覗いてみると」

【日時】平成25年9月21日(土)15:00～17:00(14:30開場)
【場所】ホテルクレメント徳島(4階 クレメントホール東)
【参加費】無料(事前予約不要/先着100名) 【問い合わせ】放射線科医局 Tel.088-633-7173

■第11回徳島膠原病・リウマチ県民講座

【日時】平成25年10月 【場所】本院 長井記念ホール 【参加費】無料
【問い合わせ】呼吸器・膠原病内科医局 Tel.088-633-7127 ※詳しい日程は、8月頃に決定します

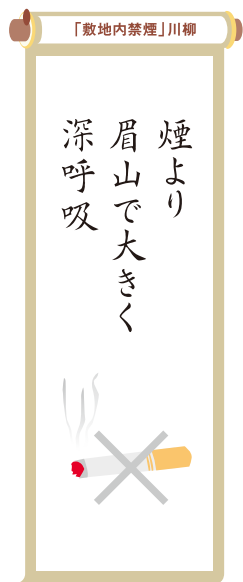
臨床試験管理センターからのお知らせ 治験に参加しませんか？

問い合わせ先／臨床試験管理センター Tel. 088-633-9294

現在、治験への参加をお願いしている病気は次の通りです

- | | | |
|--------------|--------------------|----------|
| ●関節リウマチ | ●慢性炎症性脱髄性多発神経炎 | ●小児自閉性障害 |
| ●潰瘍性大腸炎 | ●間歇性跛行を有する閉塞性動脈硬化症 | ●辺縁性歯周炎 |
| ●悪性リンパ腫 | ●腎癌 | ●前立腺癌 |
| ●多発性骨髄腫 | ●肝細胞癌 | |
| ●アルツハイマー型認知症 | ●大うつ病 | |

どうぞお気軽に
お問い合わせください。



病院のお仕事いろいろ

その1 がん患者さんのQOL(生活の質)向上を目指して、専門知識を活かしたサポート

がん看護専門看護師

三木 幸代(みき ゆきよ) 看護師長

がん看護専門看護師は、複雑な問題を抱えるがん患者さんやご家族の体やこころの苦痛を理解し、質の高い看護を提供するための専門的な知識や技術を備えたがん看護のスペシャリストです。がん治療では、安全に高度な医療を提供するだけでなく、多くの治療の選択肢の中から、その患者さんにとって最善と考えられる治療を、患者さんご自身が納得して受けられることがとても重要になります。三木看護師長は、身につけた専門知識を活かして、患者さんが治療を選択する際のサポートや、他の医療スタッフとのコーディネート、院内外におけるがん看護に関する教育活動も行っています。がん看護専門看護師の受験資格の一つとして、大学院の修士課程を修了することが要件となっています。三木看護師長は本大学院保健科学教育部の「がん看護専門看護師コース」で、社会人大学院生として3年間がん看護に関する専門的知識や実践能力を身につけました。「大学院で学んだことを、臨床の現場で活かすことで、より複雑な問題に直面している患者さんの問題解決や適切なサポートにつなげることができると日々実感しています。」(三木看護師長)最後に、すべての患者さ



んのQOL(生活の質)の視点に立って水準の高い看護をこれからも提供していきたい。また、後輩にもがん看護のプロフェッショナルを目指して、続々とチャレンジしてもらえたらと語ってくれました。

その2 血管撮影のスペシャリスト

診療放射線技師

坂東良太(ばんどう りょうた) 技師

診療放射線技師は、医師の指示の下で放射線を用いて検査や治療を行う仕事です。健康診断などで撮影されるレントゲン検査だけでなくCT検査やMRI検査、核医学検査から放射線治療まで多岐にわたっており、医療の現場になくてはならない存在です。坂東技師は現在、血管造影検査を担当しています。血管造影検査とは、その名の通り血管を撮影する検査です。細かな血管の状態や血液の流れを調べるために、カテーテルという細い管を目的の血管まで通し、造影剤を流して撮影を行います。特徴として、MRI検査やCT検査では分からない細かな箇所まで撮影が可能なこと、先端が風船状となっているバルーンカテーテルを血管の内部で膨らまし血管を広げる等、手術に比べ低侵襲で治療が可能なこと挙げられますが、合併症や血管を傷つける可能性もあり、不安を抱えて検査に臨まれる患者さんが多くいます。そのため、「安心して検査を受けて頂けるよう、検査内容を丁寧に説明すること」を心がけているそうです。365日緊急呼び出し体制で夜間、休日関係なく必要があれば血管撮影室で検査や治療を行うことは大変ですが、脳梗塞や心筋梗塞などの検査や治療を受けた患者さんが良くなっていく様子を見ると、救命

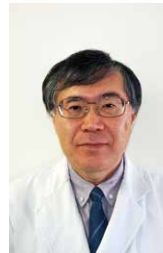


医療の一端を担っているやりがいを実感するとのこと。最後に知識や技術の向上のため専門技師の資格取得し、臨床だけでなく研究に対しても努力していきたいと語ってくれました。

tokudai-staff information

副院長のごあいさつ

香美 祥二(かがみ しょうじ) 副病院長／総務担当



- 1980年 徳島大学医学部医学科卒業
- 2004年 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部発生発達医学講座(小児医学)教授就任
- 2012年 副病院長 就任
- 2013年 副病院長 再任

病院職員、スタッフが働きやすい環境作りに取り組んでいます。

丹黒 章(たんごく あきら) 副病院長／診療担当



- 1981年 徳島大学医学部医学科卒業
- 2004年 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部生体防衛腫瘍医学講座(胸部・内分泌・腫瘍外科学)教授就任
- 2012年 副病院長 就任
- 2013年 副病院長 再任

患者さんが安心して治療を受けられるよう診療支援を行います。

松尾 敬志(まつお たかし) 副病院長／歯科担当



- 1980年 大阪大学歯学部歯学科卒業
- 1984年 大阪大学大学院歯学研究科博士課程修了
- 1996年 徳島大学歯学部教授就任
- 2004年 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部発達予防医歯学部門健康長寿歯科学講座(歯科保存学)教授就任
- 2013年 副病院長 就任

口腔機能・口腔環境の改善により健康やQOL向上を目指します。

木田 菊恵(きだ きくえ) 副病院長／看護担当



- 1980年 藤田保健衛生大学衛生看護学科卒業
- 2009年 看護部長就任
- 2012年 副病院長 就任
- 2013年 副病院長 再任

「愛と知と技のバランスのとれた看護職養成」に取り組んでいます。

患者の皆様へ

「治験案内」新しい薬の誕生まで

「臨床試験管理センター」

治験とは、新しい薬の有効性と安全性を確認し、厚生労働省の承認を得ることを目的に行われる臨床試験です。お薬は、このように治験を行い承認されてはじめてあなたの担当医師が診療で使用できるようになります。本院では、毎年60件以上の治験が行われています。将来、より多くの患者さんが新しい薬を使用できるように、私たちは、治験を推進し、新しい薬を誕生させることに貢献したいと思っています。患者の皆さまのご協力をお願いいたします。



地域連携の部屋

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さま等と協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

Vo.13

地域連携病院⑧「沖の洲病院」

今回は、人間ドックに力を入れている沖の洲病院を紹介します。

■安心して健診を受けられるために

沖の洲病院は、健診センターと透析センターを併設し、優秀なスタッフを充実させることで、生活習慣病や悪性腫瘍の予防・発見・治療に力を尽くしています。

平成18年8月に徳島県内で初めて人間ドック・健診施設機能評価の認定を取得した健診センターは「質の高い医療の提供と、患者さんが安心して健診を受けられる」をモットーに、放射線科専門医、マンモグラフィ読影認定医や内視鏡専門医等による正確な診断をダブルチェック体制で常時行っています。健診センターで行う人間ドックには、近隣からはもちろん県外からも多くの利用があり、年間約14000人、多い時では1日約80人が受診しているとのこと。

一方の透析センターは、透析を受ける患者さんのプライバシーを考慮した徳島県で最初の半個室を設置し、専門スタッフによる腎不全保存期の治療、透析導入や合併症まで、幅広く腎不全医療に取り組んでいます。また本年4月から開始した夜間透析は患

者さんのご要望によるもので、患者さんがより快適に治療を受けられるために、毎日のコミュニケーションも大切にしているそうです。

■患者さんが満足する医療の提供

沖の洲病院は本院の消化器・移植外科や産科婦人科など他院で治療を終えた患者さんを受け入れることも多く、その際には相手の病院に対して、迅速かつ細かい経過報告を行っているそうです。また、ここには長期入院が可能な亜急性病床と短期入院の急性期病床があるため、患者さんの病状に合わせて入院期間を決定できるなど受け入れ体制も整っているのです。今後も連携を強めていきたいとのこと。

また、今年4月からは泌尿器科に常勤の医師が勤務するようになり、設備面でもリハビリルームや外来の内装をリニューアルするなど、患者さんに満足していただくための病院作りに励んでいます。「沖の洲病院だから出来る治療」を目指して、遠方からも患者さんがやってくる病院にしていきたいと話してくれました。

「地域医療連携」について

徳島大学病院地域医療連携センターでは、大学病院と地域の医療機関との円滑な橋渡しを目指して、大学病院での高度先進医療から、患者さんのお住まいの地域の診療機関と連携し、在宅療養へと継続できるようサポートしています。



■説明は、
仁木 亮介 (にきりょうすけ)
副院長
■問い合わせ
医療法人 なぎさ会
沖の洲病院
徳島市城東町1丁目8-8
Tel.088-622-7111

食事のヒント

テーマ 夏を乗り切る食事!

いよいよ夏本番に差し掛かる中、夏バテ防止には、バランスのとれた食事が大事になってきます。今回は、必要な栄養素が摂れ、しかも調理時間も短くて簡単に作れるメニューをご紹介します。



回答は、
栄養部 山田 静恵
(やまだ しずえ)



豚しゃぶ 梅ソースかけ

材料

●豚肉しゃぶしゃぶ用80g／胡瓜1/2本／玉葱40g／人参20g／わかめ(生)10g／※梅ソース(梅干し中1個／だし汁大さじ1／醤油・みりん各小さじ1弱)

作り方

1 梅ソースを作る。梅干しは種を取り、包丁で細かくたたいてから、だし汁、調味料と混ぜ合わせておく。2 胡瓜は、蛇腹切りして、塩少々をからめておき、しんなりしたら水洗いして、水気をきる。3 玉葱はスライスした後、水にさらし、これも水気をきっておく。4 人参は棒状に切つて、茹でる。5 生わかめは食べやすい大きさに切っておく。6 豚肉は、たっぷりの熱湯の中に1枚ずつ入れて茹で、ザルに上げて水気をきる。7 器に、豚肉、野菜、わかめを盛り付け、(1)の梅肉ソースをかける。

1人分あたりの
栄養量
●エネルギー:
260kcal
●蛋白質:17g
●脂質:15g
●塩分:1.5g

※料理の組み合わせの一例として、茄子の素揚げを添えました。めんつゆ等に浸しておくと、味がしみておいしいです。

ちょっと一言

夏は、量より質を重視した食事を心がけ、少しずつでも3食きちんと食べ、炭水化物の主食と蛋白質、ビタミンが摂れる副食を組み合わせるとバランス良い食事で、暑い夏を乗り切りましょう。



お集まりを印象的に。

1000名様収容のクレメントホールから和やかな宴に最適なお部屋までバラエティ豊かな12の宴会場をご用意致しました。ご宴会、ご結婚披露宴、展示会、式典、会議・・・充実した設備と行き届いたサービスで、お集まりを鮮やかに彩ります。

宴会プランの詳細・季節のイベントは、ホームページからご覧頂けます!
<http://www.hotelclement.co.jp> ◀CHECK!

ホテル クレメント 徳島 〒770-0831 徳島市寺島本町西1丁目6番地 11階 【お問い合わせ】 Tel.(088)656-3333

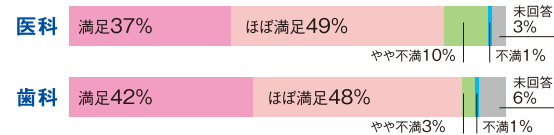
平成24年度
患者満足度アンケートの
結果が出ました！

平成24年
11月5日～9日

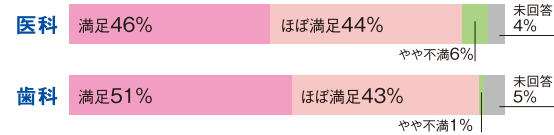
外来患者対象

■ 環境面

01 案内表示のわかりやすさ



02 待合室の清掃状況



■ 接遇面

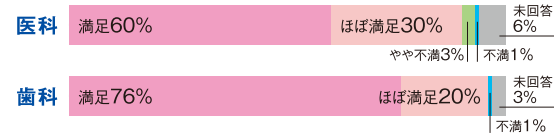
01 総合案内や会計の応対



02 各診療科受付の応対



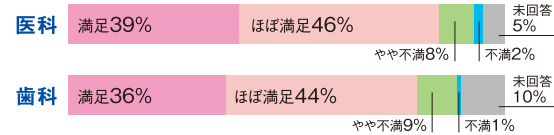
03 医師の応対



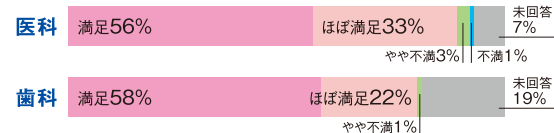
03 各科の待合室の清掃状況



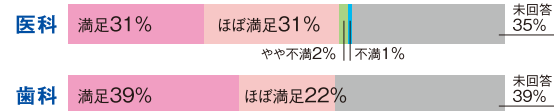
04 トイレの清掃状況



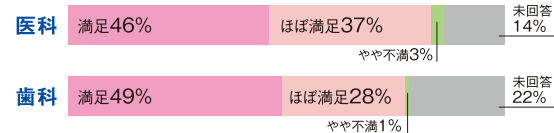
04 看護師の応対



05 薬剤師の応対



06 検査技師・放射線技師の応対

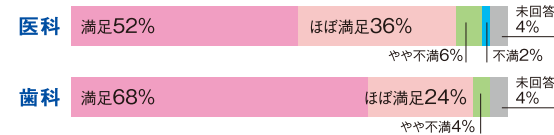


●配布数／医科500枚・歯科180枚
●回収数／医科431枚・歯科150枚
●回収率／医科86%・歯科83%

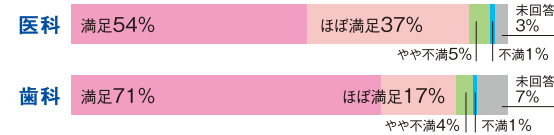
徳島大学病院では医療サービスに対する患者さんの評価を調査し、改善するために年1回「患者満足度アンケート」を実施していますが、毎年高い評価をいただいています。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

■ 診療面

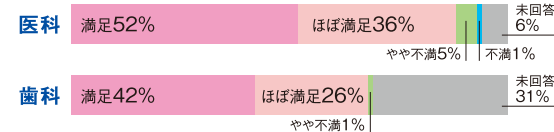
01 医師の病状や治療計画の説明のわかりやすさ



02 医師への相談や質問のしやすさ

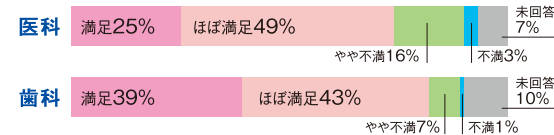


03 看護師の説明のわかりやすさ



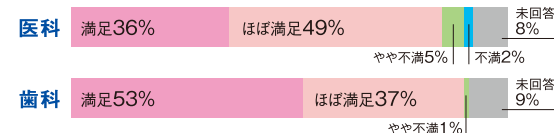
■ 防災面

01 非常口のわかりやすさ



■ 総合

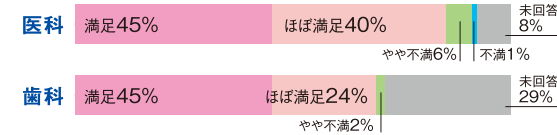
01 プライバシーへの配慮



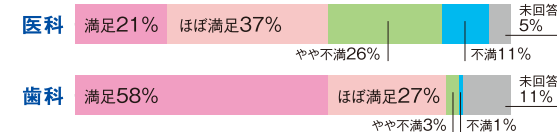
アンケート結果の
色分けの見方



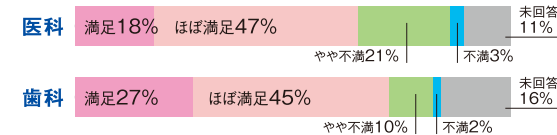
04 看護師への相談や質問のしやすさ



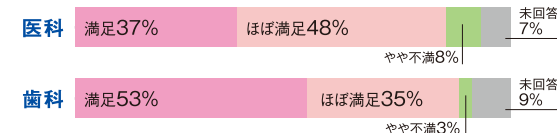
05 案内予約時間から診察開始までの待ち時間



02 避難経路図のわかりやすさ



02 当院に対する総合的な満足度



平成24年度
患者満足度アンケートの
結果が出ました！

平成24年
11月1日～30日

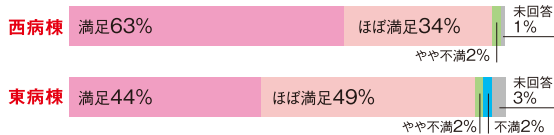
入院患者対象

●配布数／西病棟270枚・東病棟180枚
●回収数／西病棟250枚・東病棟130枚
●回収率／西病棟93%・東病棟72%

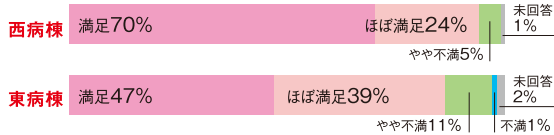
徳島大学病院では医療サービスに対する患者さんの評価を調査し、改善するために年1回「患者満足度アンケート」を実施していますが、毎年高い評価をいただいています。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

環境面

01 案内表示のわかりやすさ

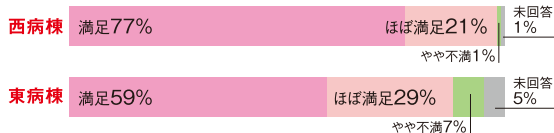


02 病棟・病室の清掃状況



接遇面

01 事務職員の応対



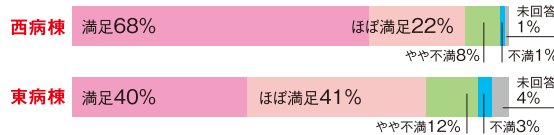
02 医師の応対



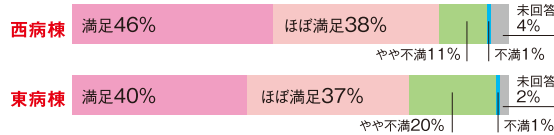
03 看護師の応対



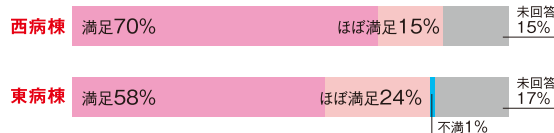
03 トイレの清掃状況



04 食事の内容について



04 薬剤師の応対



05 検査技師・放射線技師の応対



診療面

01 医師の病状や治療計画の説明のわかりやすさ



02 医師への相談や質問のしやすさ



03 看護師の説明のわかりやすさ



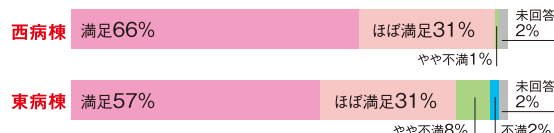
防災面

01 非常口のわかりやすさ



総合

01 プライバシーへの配慮



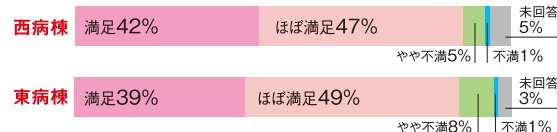
04 看護師への相談や質問のしやすさ



05 案内予約時間から診察開始までの待ち時間



02 避難経路図のわかりやすさ



02 当院に対する総合的な満足度

